



北海道防災士会道南ブロック 活動報告 【No.1】

「令和4年8月道南地方大雨時住民避難行動調査」研究活動

2022.8～2023.9.5

令和4年8月に北海道南西部を中心に短時間の大雨事例があり、複数の自治体に避難指示が出されました。その際の住民避難行動について調査研究を行い、住民への報告会や学会でのポスター発表、防災関係者との意見交換会などに取り組んでいます。

指示後も避難2割止まり

8月1日道南を襲った大雨で避難指示や高齢者等避難の情報が届いた際、避難所避難などの避難行動を取った人が約2割にとどまったことが、渡島総合振興局と道南防災士会のアンケートで明らかになった。夜間で避難をためらった事例も多かった。

8月道南大雨 渡島振興局など調査

「防災対策」が71人(9.7%)、「感震対策」が71人(9.7%)の順で、伊藤さん(女)の回答が多かったと分析している。回答が多かったと指摘。「感震対策」が71人(9.7%)の順で、伊藤さん(女)の回答が多かったと分析している。

アンケートは、大雨に伴う避難行動を取ったかを調べた。初めに対象は10月11日までに、渡島管内は8月9日、11日、12日、15日、16日の降で、市町に計15回の避難指示、高齢者等避難が出た。

夜で様子見3割 「行動に結びつけ」課題

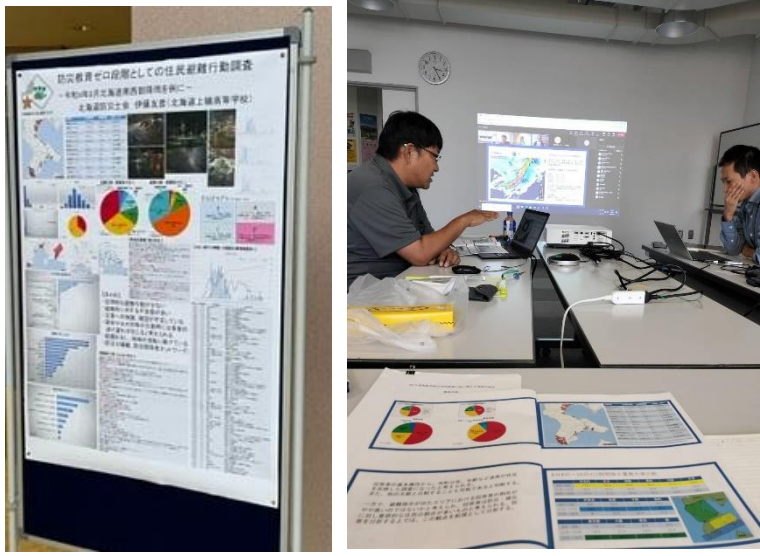
アンケートは、大雨に伴う避難行動を取ったかを調べた。初めに対象は10月11日までに、渡島管内は8月9日、11日、12日、15日、16日の降で、市町に計15回の避難指示、高齢者等避難が出た。

地域住民対象に報告会を開催、20名あまりの参加者に、避難の状況や、住民の意識、当時の行動の傾向などを解説した。地域での反響が一定数あり、地域紙などで繰り返し取り上げていただいた。



上：住民報告会

左：(株)開発工営社様との情報交流会



防災教育学会でのポスター発表

地域の防災活動に取り組むうえで欠かすことのできない防災教育の基礎調査として研究を進めている。今後も地域防災に役立つ調査、研究に取り組んでいく。

※北海道防災士会道南ブロックは、北海道渡島管内および松山管内を中心に活動する北海道防災士会会員で構成された地域ブロックです。



北海道防災士会道南ブロック 活動報告 【No.2】

「ほくと防災マルシェ」参加・運営

2023.9.10

北海道北斗市で開催された地域防災イベント「ほくと防災マルシェ」に実行委員として参加し、当日の運営及び子供向け防災講座「防災タイムアタック」、大人向け防災講座「百均でつくる防災バッグ」を実施しました。北斗市で開催された初の民間団体主催の防災イベントでしたが、地域住民 530 名あまりの参加があり、盛況のうちに閉会しました。



※北海道防災士会道南ブロックは、北海道渡島管内および松山管内を中心に活動する北海道防災士会会員で構成された地域ブロックです。